

令和5年2月定例会

予算決算委員会資料
(デジタル化推進本部)

高齢者等デジタル活用支援事業について

1 事業の目的

高齢者をはじめとする市民のデジタル活用に係る格差の解消を図り、地域の情報化を推進する。

2 事業概要

連携協定を締結した株式会社ALL-A（秋田市エイジフレンドリーパートナー）との共同事業として、「スマートフォン相談窓口」を継続実施するほか、新たに、出前講座「はじめてのスマートフォン教室」を開催する。

(1) スマートフォン相談窓口

| | | |
|------|--------------------------------|--------------------|
| 開設曜日 | 月～金曜日（祝日および年末年始の休日を除く。） | |
| 相談時間 | ①10～11時 ②11～12時 ③12～13時（1日3コマ） | |
| 開設場所 | 月・火曜日 | アルヴェ3階（市民交流サロン内） |
| | 水～金曜日 | 市役所1階（スマートフォン相談窓口） |

(2) 出前講座「はじめてのスマートフォン教室」

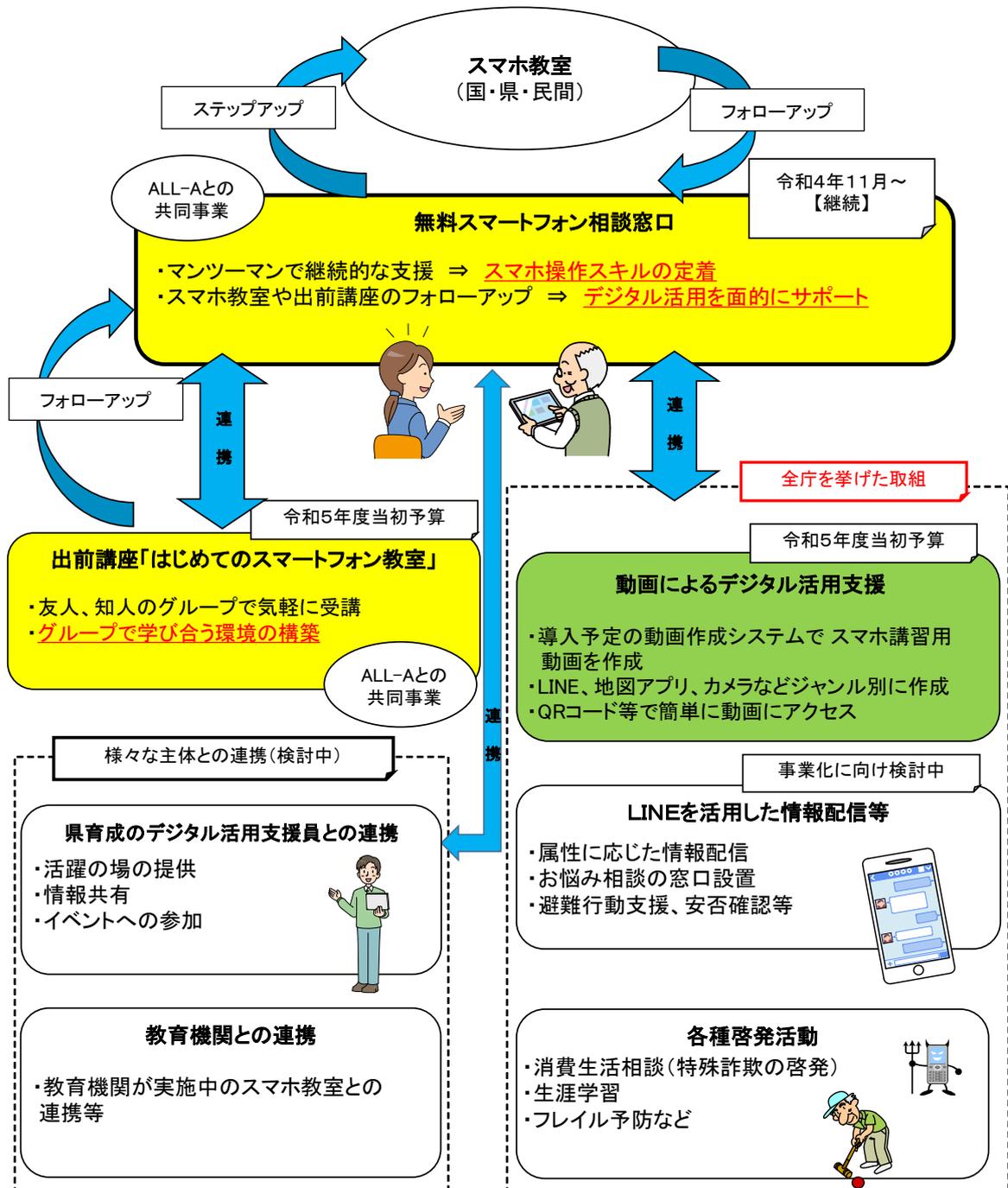
| | |
|-------|--|
| 趣 旨 | グループでの受講を中心に進め、仲間同士で教え合える環境を形成し、デジタルデバイドの戦略的な解消を図る。 |
| 開始予定 | 令和5年5月（事前予約制） |
| 開催周期 | 原則週1回、月4回まで。 |
| 対 象 者 | スマートフォンを所持したことがない方、又はスマートフォン初心者 |
| 講座内容 | 次の2つのメニューから選択 ①基本講座（スマートフォンの基本操作、電話、カメラ、文字入力、Googleマップ等） ②LINE |
| 定 員 等 | 4人グループを基本とする（2～3人の場合も対応可）。 |
| 開催場所 | コミュニティセンター等 |

3 予算内訳

| 節名称 | 内 訳 | 金額（千円） |
|-------|-------------------|--------|
| 役務費 | インターネット専用回線使用料 | 96 |
| 負担金 | スマートフォン相談窓口秋田市負担金 | 2,857 |
| | 出前講座秋田市負担金 | 726 |
| 事業費合計 | | 3,679 |

4 展開イメージ

高齢者等デジタル活用支援事業の展開イメージ



議事録作成機器導入経費について

1 事業の目的

全庁において議事録等の作成が必要な会議が年間約550時間あり、その作成時間に1,600時間程度を要していることから、議事録作成機器の導入により、事務の効率化と業務時間の削減を図る。

2 事業概要

令和3年度から議事録作成機器の性能評価や無料トライアルを実施しており、その検証結果から、議事録作成に要する時間の削減が見込めるため、令和5年度から全庁で本格導入を行う。

なお、導入にあたっては、全庁の会議開催状況を踏まえ、毎月50時間分の議事録が作成できる環境を整備する。

3 予算内訳

| 節 名 称 | 内 訳 | 金額(千円) |
|----------|--------------|--------|
| 需用費 | 録音用マイクセット | 88 |
| 使用料及び賃借料 | 議事録作成システム利用料 | 449 |
| 備品購入費 | 録音用モバイルレコーダー | 99 |
| 事業費合計 | | 636 |

動画自動作成システム導入経費について

1 事業の目的

簡単に動画を作成・配信できるシステムを導入することで、市民向けの情報発信手段の多様化を図り、市民が情報を得やすくするとともに、職員向けに動画による研修受講体制を整備し、職員のICTスキル等の底上げにつなげる。

2 事業概要

PowerPointデータから動画を簡易に作成できるシステムを導入する。

動画による情報配信は、いつでも繰り返し再生できるとともに、具体的な手順を見ることができ理解しやすいという利点がある。

また、映像、音声だけでなく字幕も入るため、視覚や聴覚に障がいがある方でも利用しやすいものとなる。

(1) 動画による市民への情報発信

- ・市民向け広報動画の作成を全庁的に展開し、情報発信力の向上を図る。
- ・デジタルデバイド対策の一環として、スマートフォンの操作方法を動画で配信する。

(2) 動画によるICT研修体制の整備

- ・庁内のICT研修を全て動画視聴により受講できる体制とし、研修で得た知識を業務での経験と結びつけることで、全庁的なICTスキルの底上げとデジタル人材の育成を図る。

3 予算内訳

1, 375千円（使用料及び賃借料）

※動画自動作成システムサービス利用料

